

大好きな学校を目指して! 心のサポート授業と避難訓練

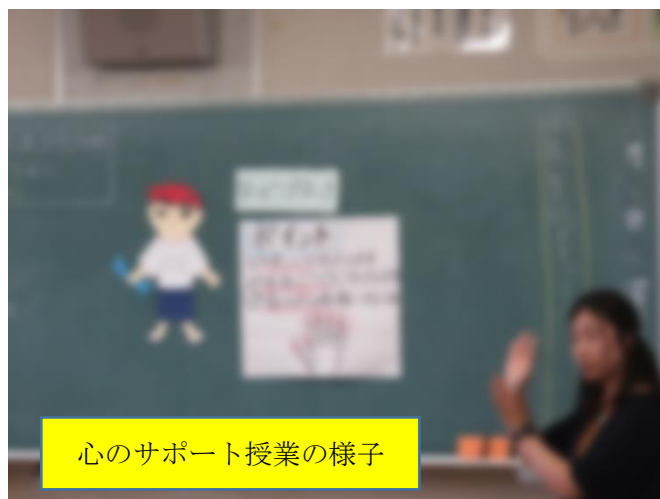
熊本地震から1年2か月程過ぎました。子どもたちは落ち着いた学習態度で学校生活を送っています。しかし、まだ地震も時々起っていて、中には不安に思う子どもたちもいるように感じます。

そこで、県教育委員会も推奨する心のサポート授業と避難訓練をセットにして全学級で取り組むことにしました。

心のサポート授業の目標はイライラしたり不安に思ったりするときにどうすればよいか確認し、リラックス方法を知ることです。さらに、1年生はアニバサリー反応の対処法を知ることです。(なお、他学年は3月末に行っています。)



タッピングタッチの様子



心のサポート授業の様子

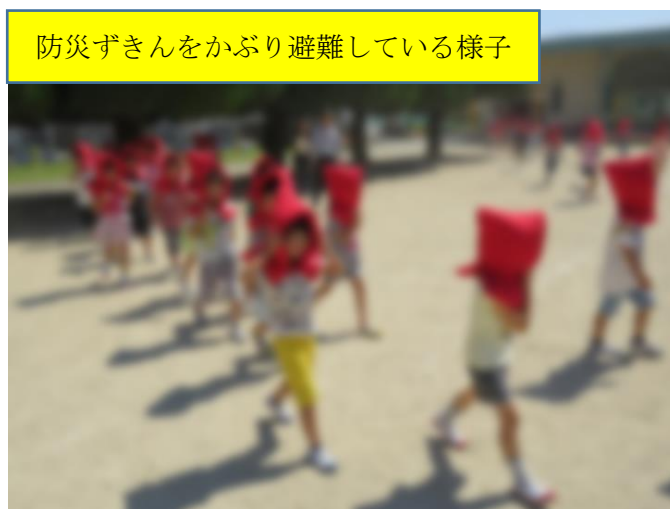
授業の流れは、次の通りでした。

- ① 自分の心と体の振り返りシートを見ながら、最近の自分の状態を確認する。
- ② イライラしたり不安に思ったりするときにどうすればよいか知る。
- ③ リラックス法を体験する。
1年生：深呼吸・ストレッチ
2年生以上：タッピングタッチ
- ④ ふりかえり

なお、「タッピングタッチ」とは、指先の腹のところを使って、左右交互に、軽く弾ませるように相手の背中などをタッチすることです。ゆっくり、やさしく、ていねいに子どもたちはお互いの背中をタッチしていきました。子どもたちは「あたたかい」「気持ち良くなった」と感想を述べていました。

15日(木)には地震避難訓練を行いました。防災ずきんをかぶり、運動場に避難しました。

「おさない、かけない、しゃべらない、もどらない」を合言葉に実行できました。授業中だけでなく、休み時間にも地震は起こるときもありますので、地震が起きた時は、今回集合した避難場所に集まることも確認しました。



防災ずきんをかぶり避難している様子

教育目標の具現化に向けて

1 縦割り班活動や委員会活動を充実しながら児童生徒の自主的活動を推進していきます。

16日（金）に縦割り班の結成を行いました。縦割り班とは、1年生から6年生までの異学年の子どもたちで構成される班です。異年齢集団活動の活性化を通して人とかかわる力や表現力の育成を図ります。そして、同じ班の仲間としての意識を高め、協力し合いながらより良い人間関係を築くことや高学年の子どもたちのリーダーシップの働きと低中学年の子どもたちのフォロアーシップの学びを目的としたものです。

今後、学期に1回の縦割り班活動、掃除、遊びをしていくつもりです。



縦割り班でお互い自己紹介しています

2 掃除指導の徹底、環境 ISO 等に取り組み、環境を大切にすることを育てます。

4年生は環境立県推進課の県職員の方による出前授業「水の学校」を実施し、熊本、嘉島町の水に対する子どもの関心を高める授業をしてもらいました。授業では、

- 水についての話（世界の水事情、熊本の水事情）
- パックテストを使った身近な水の水質検査。身近な水の良さの実感。
- 身近にできる水環境保全活動についての話などをしてもらいました。



「水の学校」の授業の様子

子どもたちは水を大切に使おうという気持ちを高めていきました。

5年生は、23日（金）に水俣市の環境センター、水俣病資料館を訪問します。目的としては、水俣病への正しい理解を図り、差別や偏見を許さない心情や態度を育むとともに、環境や環境問題への関心を高め、環境保全や環境問題の解決に意欲的に関わろうとする態度や能力を育成することです。環境モデル都市「みなまた」を実際に訪れ、体験することで学習を深めることができるものと思います。

体育館・プールの工事が終了しました

熊本地震の影響で校舎及び体育館、プール等が被害を受けました。その修復工事が終了し、6月19日の最終検査を受け、20日から体育館及びプールも使用できるようになりました。体育館は床がきれいに張り替えられ、プールはポンプ室、フェンス、プールサイドの一部が改修されました。

早速、20日には5年生と6年生のプール開きがありました。子どもたちも改修されたプールでの水泳学習が始められて満足そうでした。



床等修理された体育館